

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	盛岡市産業まつり開催事業			事業コード	1285
担当課等	所属名	商工観光部 観光課	担当係名		
	課長名	村山悦男	担当者名	中嶋 亮	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード 4
	基本事業	魅力あふれる物産の振興	コード 3	関連予算 費目名	一般会計 7款 1項 2目 盛岡市産業まつり開催事業 (011-03)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 56年度～)					
事務事業の概要	盛岡に生まれ育った産業の宣伝を図り、広く市民に啓発し、理解と支持を得るために物産展の開催、バーチャル産業まつり、小さな博物館及び盛岡バーチャル博物館の増設を行った。					
根拠法令等	なし					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
多様化する消費者ニーズと変動する社会経済情勢に対応し、盛岡地域に育った地場産業の啓発宣伝を図るとともに、業界の活性化と消費者の理解、支持を得ることによる地場産業の普及促進を図るため実施し、もって地域経済の振興に寄与するものである。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
市議会において、小さな博物館の支援内容を強化しようとする意見がある。また、特産品事業者からは物産展の期待が強い。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
修学旅行生の自主研修活動が行われているほか、小・中学校において総合的な学習が行われており、これらに対応する地場産業の宣伝事業の期待が増加している。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	特産品事業者、盛岡市民及び観光客	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 出展者数	単位	店
				B. 盛岡市民	単位	万人
				C. 観光客入込み数	単位	万人回
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	<p>22年度実績(22年度に行った主な活動)</p> <p>地場産品事業者ほか関連団体で構成する産業まつり実行委員会を組織し、負担金を支出するとともに、事務局事務を行い、物産展、バーチャル博物館、小さな博物館の増設など各種普及宣伝事業を行った。</p> <p>23年度計画(23年度に計画している主な活動)</p> <p>地場産品事業者ほか関連団体で構成する産業まつり実行委員会を組織し、負担金を支出するとともに、事務局事務を行い、物産展を開催するほか、バーチャル博物館、バーチャル産業まつり、小さな博物館の増設などにより各種普及宣伝事業を行う。</p>	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 物産展開催日数	単位	日
				B. 盛岡バーチャル博物館設置数	単位	件
				C. 盛岡小さな博物館設置数	単位	館
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	特産品の理解を深め、販路拡張と知名度の向上を図る。また、観光客や修学旅行生等に対して来盛前に盛岡市の特産品の情報提供を行うとともに、物産展や小さな博物館を訪れた観光客等に対して特産品への理解の向上を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 物産売上額	単位	千円
				【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】		
				B. 盛岡バーチャル博物館年間利用者数	単位	人
				【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】		
				C. 盛岡小さな博物館年間利用者数	単位	人
				【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】		
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	特産品が創出され、育成される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	特産品の取扱高(盛岡市特産品振興協議会会員企業)(単位:百万円)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	出展者数	店	59	56	65	54	65	65	24年度 65
対象 指標B	盛岡市民	万人	30	30	30	30	30	30	24年度 30
対象 指標C	観光客入込み数	万人回	472	459	466	444	472	478	26年度 490
活動 指標A	物産展開催日数	日	6	5	7	7	7	7	26年度 7
活動 指標B	盛岡バーチャル博物館設置数	件	15	16	17	16	17	18	24年度 18
活動 指標C	盛岡小さな博物館設置数	館	21	22	23	23	24	25	24年度 25
成果 指標A	物産売上額	千円	18349	15690	21000	19435	21000	21000	24年度 21000
成果 指標B	盛岡バーチャル博物館年間利用者数	人	7607	270673	270000	調査中	270000	270000	24年度 270000
成果 指標C	盛岡小さな博物館年間利用者数	人	9462	9274	10500	14508	13000	15000	24年度 15000

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	*****
	延べ業務時間数	時間	672	672	672	672	672	372	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	2,688	2,688	2,688	2,688	2,688	1,488	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	5,188	5,188	5,188	5,188	5,188	3,988	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 物産展の開催や地場産品の普及宣伝をすることにより販路拡大や普及促進を行うことは結びついていると考えられる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 地場産品の振興を通じて、地域経済の振興を図るものであり市での実施が必要と思われる。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 販路拡大を図るためには、消費者ニーズに沿った催事の開催や精度の高いより多くの情報を多くの人に提供が必要であることから妥当であると考えられる。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 物産展の開催や地場産品の普及宣伝事業は、地場産品の販路拡大を通じた地域文化の向上であることから妥当であると考えられる。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 継続的な事業実施や事業内容の充実、イベントの強化により地場産品の販路拡大が見込まれる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 商品の開発や地場産品の普及及び販路拡大は消費者ニーズに沿った活動の継続が必要であるため。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 盛岡市物産と観光展開催事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 事業目的に類似点はあるものの運営形態、構成団体が違うため統合することはできない。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 平成17年度から受益者負担を導入していることから難しいと思われる。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 対象を広げることによって事務量が増加することとなることから難しいと思われる
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	その内容: 物産催事の新規出展者の更なる掘り起しを図ることにより、受益機会を増やす余地がある。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	その内容: 平成17年度から物産催事における出展者からの売上に応じた出展者手数料の徴収を行い事業費の一部に充当していることから適正であると考えられる。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 物産展への新たな出展者の掘り起こしと市民への地場産品の啓発活動を拡充する。</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか? (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む) 事務局事務を現在必要最低人員で組織運営しているため、新規事業の立ち上げまではなかなか手がまわらない状況である。 物産イベントの開催や小さな博物館、バーチャル博物館の拡充により業界の活性化、市民への理解と認識を深め地場産品の普及促進を図る必要がある。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>出店業者数は安定しており、特産品の普及と地場産業の活性化に寄与している。小さな博物館事業は、市内の児童生徒はもとより、他県の修学旅行生などにも学習の場として好評を得ている。</p>							
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>事業内容の充実とイベント強化により、さらなる販路拡大を図る。</p>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→ <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→ <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携							
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止								